

第2学年東組 生活科学学習指導案

「坂出のステキ見い付けた！～とび出せ！町のたんけんたい～」

学習指導者 増田 洸一

1 学級（35名）の実態

（1）方法の習得を目指す自己調整力に関する実態

〔問題を発見して課題を設定する力〕

質問紙調査によると、生活科での授業で自分が分かっていることは何で、まだ分かっていないことは何かを考えている子供は26人、勉強を始める前に、これから何をどうやって勉強するかを考えている子供は25人であった。「次にしたいことはどうやって見付けていますか」と問うと、「もっとレベルアップできそうなところを探す」と答えた子供が10人、「学んだことを使う」「友達と相談して決める」と答えた子供が15人、「分からない」答えている子供が10人であった。

（2）教科に関する学級の実態

本学級では、電車等を利用し登下校する校区外の子供が13人おり、坂出のまちについてあまり知らない子供が多い。一年生の時の通学路探検では、坂出駅まで歩いて探検し、標識を探す活動や安全な道の歩き方などは経験しているが、まちの自然や人を探すといった経験はしていない。

習得を目指す「問題を発見して、課題を設定する方法」

ゴールに向けて、現在地を見直して、次にしたいことを見付ける

2 本単元で目指す『多様な他者と共に、自ら学びを進める子供』の姿

本単元では、町探検の経験を通して、坂出のまちのステキ（楽しかった、美しかった、感動したものなど）を見付ける中で、地域や人々のよさに気づき、地域への親しみや愛着を高めていく。

単元の初めに、学校の周りを探検して見付けたステキを紹介し合い、そのステキを地図のようにまとめられることに気付いた子供たちは、「もっと探検してステキを地図に集めたい」「見付けたステキを誰かに紹介したい」という思いを高め、「坂出ステキマップを作って、家族にステキNo. 1を紹介しよう」という活動のゴールを設定する。ステキNo. 1 決める際は、同じ場所を探検した友達と「ぼくは香風園がステキだと思ったよ。理由は、園の中にある自然がきれいだったからだよ」「きれいな庭や滝があったね。他にも理由があるの」「手入れしてくれている係の人がいたこともステキだと思ったよ」「なるほど。そう言えば、香風園の近くには電車が通るのも見えたよね」「そうそう。電車が見える場所でもあるんだね。ステキだと思う理由も多いし、今回の探検でのぼくのステキNo. 1 は香風園にしよう」などと、「自然・もの・人」の視点でステキだと思う理由を伝え合い、撮影した写真の中から、自分のステキNo. 1を決めていく。ステキだと思う理由はカードにまとめ、写真と共にマップに貼ることで、一人一人のステキNo. 1を共有していく。振り返り場面では、マップで共有したステキを基に更新・強化された自分のNo. 1のステキを確認した後、ゴールに向けて、現時点でのマップを見直し、次にしたいことを見付けていく。例えば、「1回目の探検後のマップを見ると、まだ狭い範囲でしか探検できてないね」「本当だ。ステキは見付かったけど、これではまだNo. 1は選べないなあ」「坂出駅や商店街みたいにまだ探検できていないところを次探検したいな」などと次探検したい場所や方面を具体的に見付け、次の探検での課題を明確にしていく。このように、ゴールに向けて、地域の様々な場所や人に関わり、気付いたことを表現していくことを繰り返し経験していくことを通して、坂出市やそこに住む人々の良さに気付いた子供たちは、丸亀や宇多津など自分のまちへの興味を高めたり、二学期の町探検への意欲を高めたりしていくだろう。

3 単元計画と単元構成の工夫（本時 7/13）

次	学習の流れ	単元構成の工夫
一	①② 坂出のまちのステキを見付けに行こう 春の遠足の写真を紹介し、坂出のまちにあったステキなもの（自然・もの・人）を共有する。坂出のステキはこれで全てなのかを問い、町探検へ行ってさらに見付けたい意欲を高める。全員で学校の周りを探検し、見付けたステキを撮影し、紹介したいステキを9枚選ぶ。	【達成意欲を高める目標共有の工夫】 ①～③ ①②時間目に、学校の周りを探検し、見付けたステキを写真に記録している。③時間目には、それを全体で紹介しながら、どこで見付けたステキかを黒板に貼った学校のイラストの周りに写真で位置付けていく。だんだんと地図のように見えてくることから「もっと探検してステキを地図に集めたい」「見付けたステキを誰かに紹介したい」という意欲を高め、「坂出ステキマップを作って、家族にステキNo. 1を紹介しよう」という単元のゴールを設定する。坂出のまちのステキNo. 1を決めるためには、もっと町探検に行きたいという子供の思いから、さらに2回探検に行くことを共有し、紹介したいステキNo. 1を見付ける意欲を高める。各回の町探検ごとに友達とステキを紹介し合い、ステキNo. 1を決め、最終3回目の探検後、紹介したいステキNo. 1を決定することを共有する。
	③ 見付けたまちのステキを紹介しよう 見付けたステキを共有し、全体で整理する中で、再度探検に行つてステキマップを完成させたいという思いや家族に見付けたステキを紹介したいという思いを高め、活動のゴールを設定する。ゴールに向けて、マップの中でまだ探検できていない場所に行けばよいことに気づき、次時の課題を明確にする。	
	④ 2回目の探検の計画を立てよう 探検したい方面ごとに4つの班に分け、ルートの計画を立てる。	
	⑤⑥ 坂出のまちのステキをもっと見付けに行こう 4コースに分かれて探検し、ステキを撮影する。紹介したいステキNo. 1をペアと相談して選び、次時マップにまとめることを確認する。	
二	⑦ 見付けたステキをマップにまとめて、友達に紹介しよう 自分が見つけたステキを紹介し、マップに位置付ける。③時間目よりステキが増えたマップを共有し、3回目の町探検で行きたい場所や関わりたい人を見付けることで、次時の課題を明確にする。	【子供が自ら選択して、学びを進める時間】 ⑧～⑪ 3回目の町探検の計画を立てる際は、これまでの探検の経験を生かし、前回と同様に自分で探検したい場所や方面を選べるようにする。⑧時間目に方面ごとに班を作り、ルートの計画を立て、⑨⑩時間目には班ごとに探検に行けるようにする。⑪時間目には、③⑦時間目の経験を生かし、見付けたステキをマップにまとめられようようにする。
	⑧ 3回目の探検の計画を立てよう 2回目の探検と同じく、探検したい方面ごとに4つの班に分け、行きたい場所や関わりたい人を明確にしながら、ルートの計画を立てる。	
	⑨⑩ 坂出のまちのステキをもっともっと見付けに行こう 4コースに分かれて探検し、ステキを撮影する。紹介したいステキNo. 1をペアと相談して選び、次時がマップにまとめて紹介し合う最後の時間であること、ステキNo. 1を決定することを確認する。	
	⑪ 見付けたステキをマップにまとめて、友達に紹介しよう 見付けたステキと理由をマップに位置付ける。自分のステキNo. 1を決定し、次時家族に紹介するための準備が必要なことを確認する。	
三	⑫ 自分のステキNo. 1を紹介する準備をしよう 紹介したいステキNo. 1について詳しくまとめた表現物を作成する。	
	⑬ 見付けたステキNo. 1について紹介しよう 授業参観で家族に向けて、見付けたステキNo. 1を紹介する。坂出のまちの新しい発見やよさを共有し、坂出と自分の関わりを考える。	

4 方法の習得の段階に合わせた手立て 【ステキNo. 1見付けシート】 ③⑦

認知段階③	想起段階⑦
③時間目の振り返り場面で、「ゴールに向けて、今作っているものを見直す」という方法と次にしたいことが見付けられるというよさを共有する。その後、教師のモデルを参考に、実際にマップを見直す時間を設定する。	⑦時間目の振り返り場面で「次にしたいことを見付けるにはどうしたらよいか」と問い、問題を発見して課題を設定する方法を想起できるようにする。また、次にしたいことを見付ける手順をテレビモニターに提示し、全体で方法の手順を確認する。

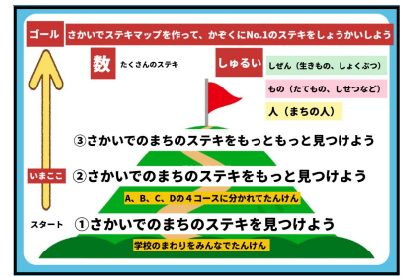
5 本時の学習

目標	単元のゴールに向けて、コースごとに分かれて行った町探検を通して見つけたステキをマップにまとめ、友達と紹介し合うことで、自分の現在でのステキNo. 1 を決定し、次の町探検でしたいことを見付けることができる。
学習活動と手立て	主な子供の意識
見 通 し	1 前時を振り返り、学習課題を確認する。 前の時間は、2 回目の町探検に行って新しくステキを見つけたよ。 今回のステキNo. 1 を早くマップに付け足したいな。 家族に紹介するステキNo. 1 見付けるために、マップを作っているね。 見つけたステキをマップにまとめて、友達に紹介しよう
行 動	2 コースごとにマップをまとめる。 ・個人で ・グループで コースごとに集まって、マップに貼るステキをまとめよう。 みんなでAコースマップを作ろう。 Cコースで集まってマップを作ろう。 まずは、見つけたステキの理由をカードに書こう。 大橋図書館 大橋図書館 角山 西山八幡宮 学校よりたくさん本があって、いつでも借りられるから。 図書館の人がいつもやさしく本のことを教えてくれるから。 景色がきれいだから。いつでもだれでも山登りができるから。 周りに自然がいっぱいで景色がいいから。お参りできるから。 紙に写真と理由カードをまとめよう。 同じステキの人とまとめよう。 同じ人はいないから一人でしょう。 ピンクの理由カードに本が借りられることを書いたよ。 黄色のカードに図書館の人のことを書いたよ。ステキの理由が違うね。 マップに紙を貼って紹介し合おう。 みんなで階段上ったね。他のコースの人は知らないと思うからいいね。 春の景色もとてもきれいだったね。坂出のステキにぴったりだ。 まとめた紙をマップに貼ろう。 他のコースの人とステキを紹介し合おう。早く見たいな。 3 マップのステキを紹介し合う。 前半後半で紹介する人と聞く人に分かれて紹介し合おう。 紹介側 図書館は 聞く側 行ったことがないから、次 学校よりたくさん本があるよ。 行ってみたいな。 紹介側 角山から、 聞く側 自分が見つけた景色よりも、 坂出のまちがよく 遠くまで見えるなあ。 見えてきれいだよ。 新しいステキを見付けられたよ。自分のステキも相手に伝わって嬉しいな。 4 ステキNo. 1 を決め、次時の課題を見いだす。 【ステキNo. 1 見付けシート】 今日までに学んだことを振り返って、自分のNo. 1 をもう一度考えよう。 ステキNo. 1 はやっぱり図書館だよ。 友達のステキを聞いて、角山に変えた自分も町の人にとっても便利だよ。 よ。お家の人にも教えてあげたいな。 マップを見直して、次の時間に取り組みたいことを考えよう。 図書館は学校よりも本が多いみたいだから、実際に確かめに行きたいな。 もっとステキな景色がないか、まだ行っていないDコースに行きたいな。 次はみんなで3 回目の探検の準備をしていこう。
評 価	ゴールを意識しながら、見つけたステキやその理由を交流することで、自分の現時点でのステキNo. 1 を決めている。また、ゴールに向けて、マップを見直し、次の探検でしたいことを見付けることができている。 【方法：発言、様相、記述】

6 本時の詳細

～見通し～ 学習活動 1

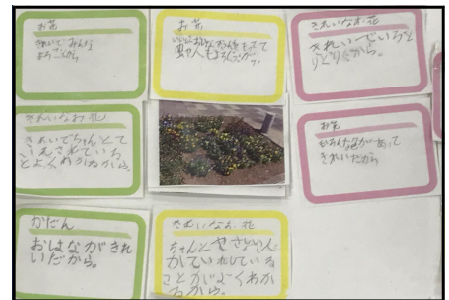
前時子供たちは、探検したい方面ごとに4コースに分かれて2回目の町探検に行き、撮影した写真の中で、マップに載せたいステキNo. 1を選んでいく。また、選んだステキNo. 1と自分のコースを明記したバッジを作成し、本時着用している。本時の初めには、写真を基に、前回の町探検を振り返ることで、本時見付けたステキをマップにまとめ、友達に紹介したいという思いを表出させ、本時の課題を明確にする。その後、何のためにマップを作っているのかを問い、学習計画表を基にゴールを確認し、課題解決の有用性を感じられるようにする。



【単元の学習計画表】

～行 動～ 学習活動 2・3

子供たちが撮影した前時の町探検での写真は印刷して渡している。行動場面ではまず、No. 1のステキを選んだ理由を記述する。同じステキを選んだ人同士で、写真と理由カードを整理する。同じコースの友達(事前にグルーピング)とステキやその理由を交流する。他のコースの友達とステキやその理由を交流するという活動の流れを確認する。ステキの理由を書く際には、3種類の理由カード(自然:緑、人:黄、もの:ピンク)を使うことで、写真に写っている対象のステキを具体的に想起しやすくしたり、自分の生活との関わりに気付きやすくしたりする。グループで見付けたステキの写真とステキだと思う理由カードを集約、整理する際には、1枚の紙にまとめる。写真は中心に重ねて貼り、理由は伝え合いながら異同を整理して、写真周りに貼るようにする。紙にまとめ終われば、コースごとに4分割したマップにその紙を随時貼っていく。マップには目印となる建物やコースごとに通ったルートを示しておき、正しい位置に自分たちで位置付けやすいようにしている。個人で取り組み、早くマップに貼れた子達がいれば、同じコースの友達がどんなステキをどんな理由でNo. 1にしたのかを紹介し合うよう声かけをする。活動3では、ステキを紹介し合う場(ステキツアー)を設定する。その際、ステキを紹介する側(ガイド側)と新しいステキを探しに行く側(お客側)に分かれ、相手意識をもって自分のステキを紹介したり、新しいステキを知ろうと目的意識をもって交流に行ったりできるようにする。前半後半に分かれ交流した後、新しく知ったステキを共有し、新しいステキの発見があったかを問うた後、「新しいステキが見つかったり、今日の自分のステキNo. 1を決めるヒントがもらえたりしましたね」とゴールに近付いたことを価値付ける。



【ステキマップに貼る写真やカード】

～振り返り～ 学習活動 4 【ステキNo. 1 見付けシート】

振り返り場面では、「ステキNo. 1」「次したいこと」「その理由」の三つの観点で振り返る。まず、これまでの活動を通して、今の自分のステキNo. 1が何かを記述する場を設定する。前回との変容がある子はその理由を問い、探検に実際に行ったり、友達と紹介し合ったりしたことで、新しいステキNo. 1が見つかったことを価値付ける。その後、「次にしたいことを見付けるにはどうしたらよいか」と問い、方法を想起できるようにする。モニターに手順を提示し、単元のゴールや次時3回目の町探検に行くことを確認する。その後、4コースのマップを合体し、マップを全員で見直す場を設定する。マップを見て、3回目の町探検で次したいことを見付ける際、行きたい場所に名前磁石を置くことで、自分の思いを視覚化できるようにする。次にしたいこととその理由が記述できていることに対して、「みんなでマップを見直すと、最後の町探検で次にしたいことがはっきりして、さらにゴールに近付きそうだね」と価値付けることで、方法を使うことのよさを実感できるようにする。

ステキNo. 1 見付けシートは、1. お花やさん、2. くだものやさん、3. しょうてんがい、4. おみせのこをくわしく聞いてみたいから。などの項目があり、子供たちが自分のステキNo. 1と理由を記入する。

【ステキNo. 1 見付けシート】